

ポータブル・ゴースト

図書館にいたのは、読みかけの本にとりつくヒリーという名の幽霊でした。ディッタは友達になったヒリーをポータブル（持ち運び）することに成功し、パソコンおたくの妹と三人で、同級生の家に出る恐ろしい幽霊のなぞにいきます。幽霊には幽霊になった理由があり、だれかに聞いてほしい物語があるようです。

マーガレット・マーヒー／著
幾島幸子／訳
岩波書店（2007年）
本体価格1800円＋税



空へつづく神話

さとこ理子は、授業中の図書室で変な白髪頭のおじさんに出会ってしまった。その人は、自分の名前も住んでいた場所も、すべて思い出せなくなってこまっている神様だったのです。その神様にたのまれてしかたなく町の歴史を調べていくうちに、神様の正体がだんだん明らかになっていきます！

富安陽子／作 広瀬 弦／絵
偕成社（2000年）
本体価格1300円＋税



ミクロの世界の仲間たち

びせいぶつ
微生物のふしぎなおはなし

目には見えないけれど、こんな不思議な世界があるなんて！
ノーベル賞を受賞したコーンバーク博士が、三人の子供や孫に話した微生物の話が本になりました。

アーサー・コーンバーク／著 アダム・アラニッツ／イラスト
ロベルト・コルター／写真 宮島郁子／訳 新井賢一／監修
羊土社（2008年） 本体価格2500円＋税



いのちのなぞ 上の巻 下の巻

「いのち」は大事、でも、いったいどんなふうにあるの？「わたし」って私のことだけ、自分のことってどれだけ知ってる？そんな、あなたの疑問にわかりやすく答えながら、「進化」や「遺伝子」のことも学べます。そして、いつのまにか「いのち」の本当の意味を知ることになるでしょう。

越智典子／文 沢田としき／絵
朔北社（2007, 2008年）
各巻／本体価格1300円＋税



幽霊派遣会社

幽霊派遣会社とは、住む家がなくこまっている幽霊と、幽霊をほしがっている人間との間を取り持ってくれるという…幽霊にも人間にも便利な会社でしたが、そこで働いている男の子のミスで、送る幽霊の取りちがえがおきてしまいました…。ハラハラしながら大笑いできるお話です。

エヴァ・イボットソン／著 三辺律子／訳
偕成社（2006年）
本体価格1400円＋税



古道具ほんなら堂 ～ちょっと不思議あり～

『古道具ほんなら堂』の店主さんは、気難しそうな白髪のおばあさんです。子供達のかかえる問題を、解決するために、このおばあさんと不思議な古道具達が、ちょっとだけ手を貸してくれます。自分から一歩踏み出す「勇気」を与えてくれるお話です。

楠 章子／作 日置由美子／画
毎日新聞社（2008年）
本体価格1300円＋税



フングリコングリ 図工室のおはなし会

図工室で先生は、ふしぎなお客にお話を聞かせます。相手はシジミチョウや金魚達。最初のお話は、1年生の子が始めた『フングリコングリ』という遊びが、先生にまで はやってしまったというものです。あなたも、お客になったつもりで読んでみてください。

岡田 淳／作・絵
偕成社（2008年） 本体価格1000円＋税



家庭教師 りん子さんが行く！ ノベルズ・エクスプレス③

二人の友達の間でまようナホミ、アイドルになりたいリサ、自分の気持ちを言えないテツーそんな三人のところへやってきた家庭教師のりん子さん。みんなのなやみに答えます。読み終わったら、どこからか“風”がふいてくるかもしれません。

加藤純子／作 加藤アカツキ／絵
ポプラ社（2008年）
本体価格1200円＋税



やまなし

小さな谷川の水底でくりひろげられる、「生」と「死」とそして…「命のきらめき」。それらが、カニの親子の不思議な会話をつうじて、心にひびきます。声に出して読みたい絵本です。

宮沢賢治／作 川上和生／絵
三起商行（2006年）
本体価格1500円＋税

